

木

簡

木簡とは

- ・紙の発明以前、古代の東アジアで、墨で文字を書いたために使われた、短冊状の木の板。

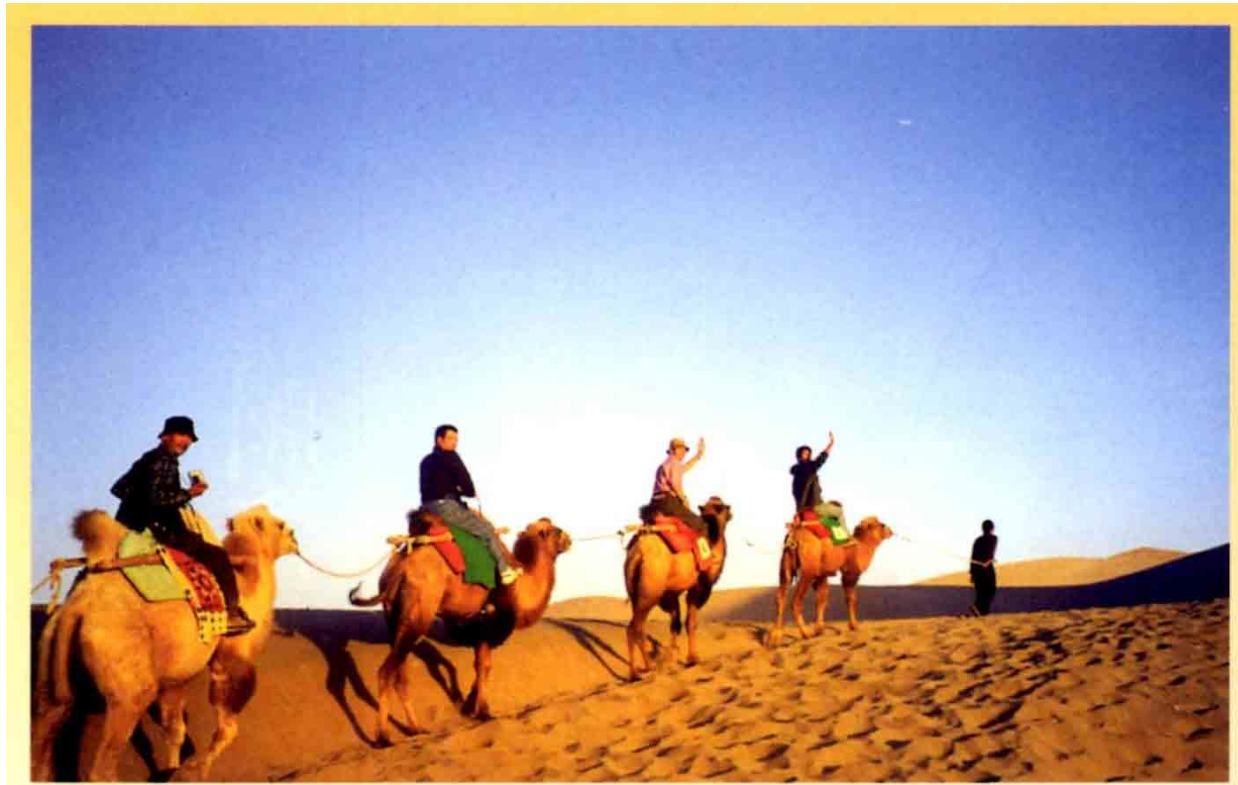
者失建不道建始三年九月甲辰下



誦知之精屏壁即有蓬蒿

木簡の発見

20世紀初頭、ヨーロッパで中央アジア(中国西域地方)探検、調査がブームになる

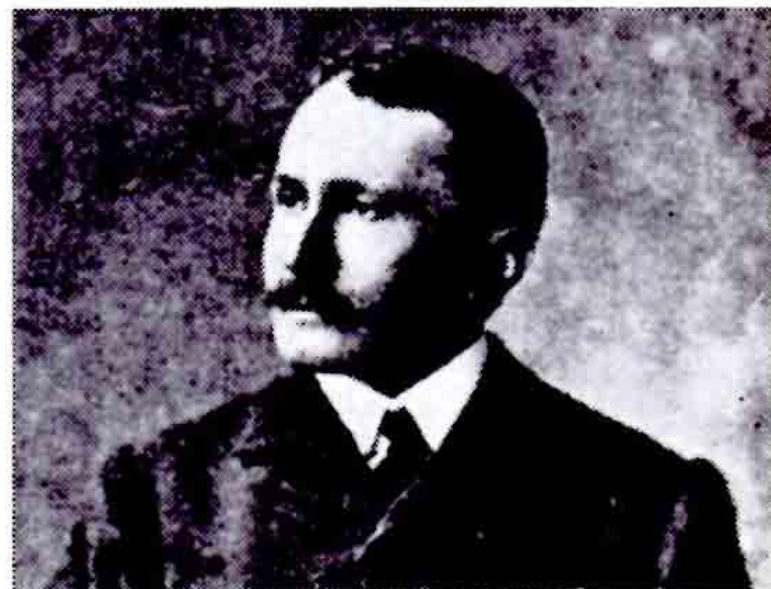


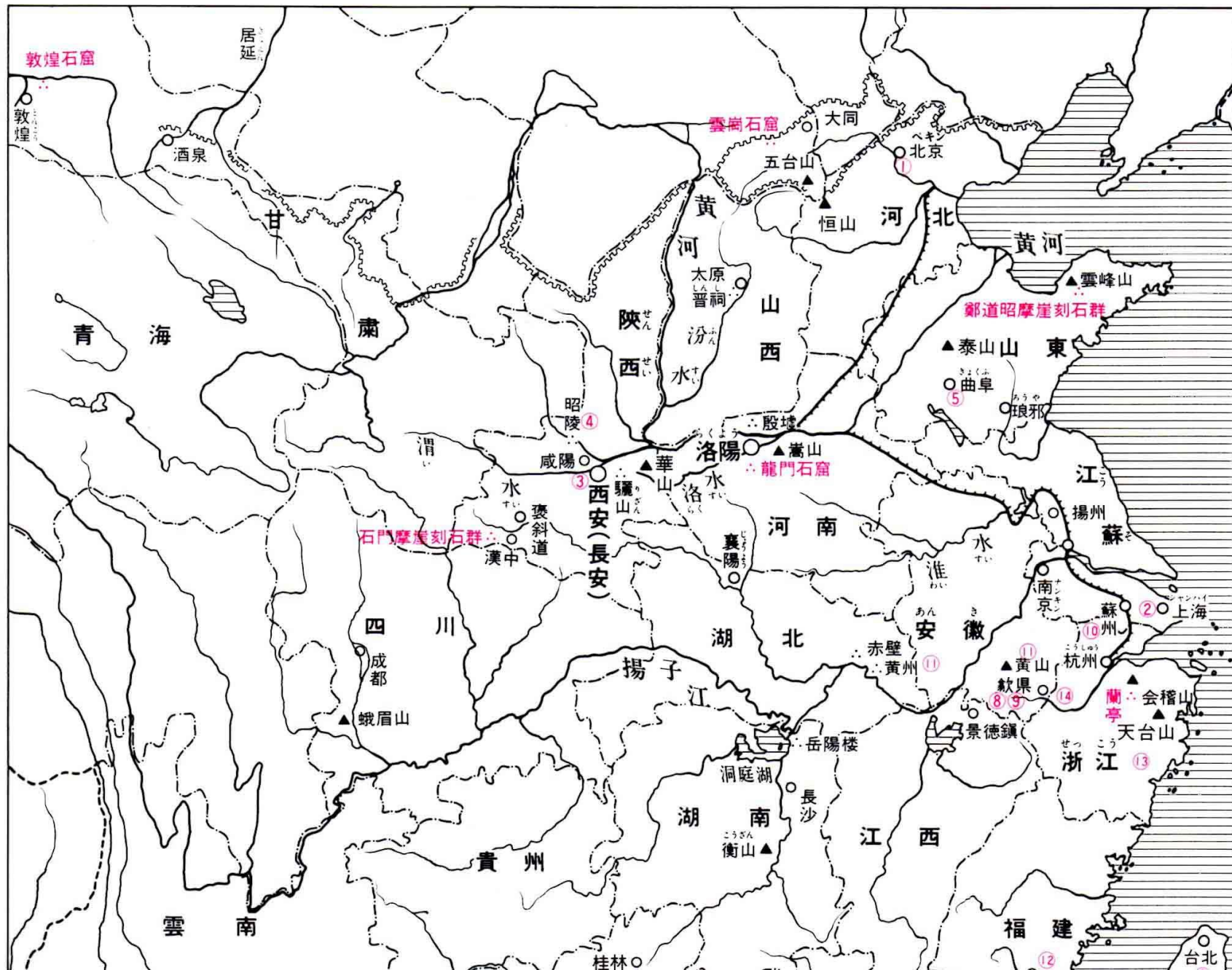
ニヤ遺跡・楼蘭の発見 晋代の木簡の発掘

ヘディン



スタイン





漢代の肉筆文字、木簡の発見

- ・ スタインによる敦煌漢簡の発掘
- ・ ヘディンと中国との合同探検隊による居延漢簡の発掘

漢代 隸書



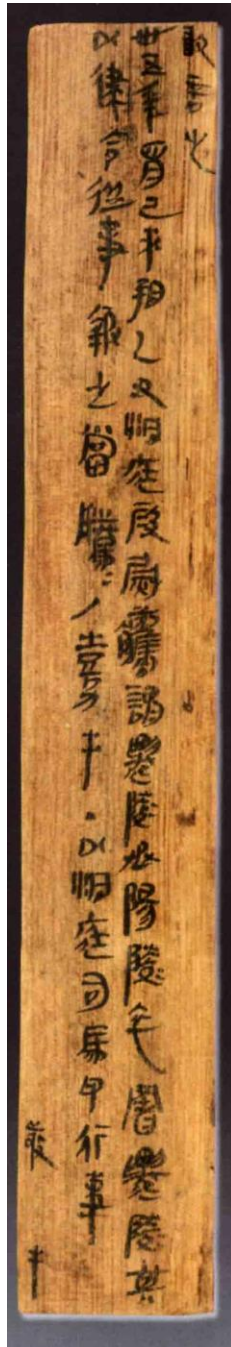
戦国時代 篆書

郭店楚簡 「民」



秦代 秦隸

里耶秦簡「假」



後漢 草書の萌芽

敦煌漢簡



後漢 楷行書の萌芽

東牌楼漢簡「邁」

冬賤子勿須言再拜
省却法前刻肅易邁
不復相見對顧衆
轉起居官舍邁貴
自來

